

## 平成30年度第1回安城市スポーツ推進審議会議事録

日 時	平成30年5月24日（木）午後1時30分～午後2時45分
場 所	安城市体育館3階第4会議室
出席委員	横山修委員、野村富雄委員、内山博子委員、錦見和彦委員、藤野奈緒子委員、黒田みどり委員、中川清委員
欠席委員	伊佐治琢磨委員、岩松正晴委員、石川恭委員
事務局出席者	教育長（杉山）、生涯学習部長（大見）、スポーツ課長（名倉）、スポーツ課長補佐（市川）、施設管理係長（岩井）、スポーツ振興係主査（鳥居）、スポーツ振興係主事（河村）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民憲章唱和</li> <li>2 委員の委嘱</li> <li>3 あいさつ</li> <li>4 副会長の選出</li> <li>5 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2次スポーツ振興計画に係る平成29年度事業実績について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 個別事業の実績について</li> <li>イ 目標値の達成状況について</li> </ol> </li> <li>(2) 平成30年度スポーツ課事業計画について</li> <li>(3) 第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度重点施策及び主要事業について</li> </ol> </li> <li>6 その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>施設見学（体育館及びソフトボール場）</li> </ol> </li> </ol>

### 1 市民憲章唱和

### 2 委員の委嘱

野村富雄委員及び錦見和彦委員へ委嘱

### 3 あいさつ

横山会長、教育長

### 4 副会長の選出

野村富雄委員を選出

### 5 議 題

#### (1) 第2次スポーツ振興計画に係る平成29年度事業実績について

##### ア 個別事業の実績について

【事務局説明】資料P1～P4

【質疑応答】

(藤野委員)

するスポーツ実績について、比較的平成28年度より落ちています。例えば、ラジオ体操の場合、天候の影響により予定していた日数よりもかなり落ち込んでしまったということですが、インドアで行うようなスポーツスクールのものの人数も落ちていますし、多少変動があるのはもちろんだと思いますが、せっかく振興計画を作ってこれからスポーツ人口を増やしていきたいということなので、これからどのような対策をとっていく予定ですか。

(スポーツ課長補佐 市川)

確かに一昨年と比較しますと差が出ております。一つ要因としましては、屋外によるものについては、調べた結果、天候不順によるものだということがわかりました。

それから、体育館が昨年度は長い改修工事で、スポーツスクールなどが会場の関係や開催日数ということでは影響が出ているということです。今年度の事業では、やはりそこを挽回ということではないですが、一昨年と同じくらいの実施をしたいと思います。

それから、ラジオ体操につきましては、子ども会の理事会などに出向いて依頼をしている所ではありますが、もう一手が打てることはないかということで、保育園や幼稚園も会場をご案内できないかと検討している所です。

(藤野委員)

やはり集客すると変動が大きいと思いますが、運動するということは、場所がないからとか、雨が降っているとかが理由で運動しないでもいいのかという時に、自分で手軽にカウントできるような簡単なアプリですとか、例えば安城市健康エクササイズアプリというものがあったとして、今日運動したらポチッと押してもらおうと。そうすると、市民の運動としてカウントできると。こういうような催事的なものですとか、教室のようなものですと、ある程度期間があって、お休みしたら今後申込しづらいと躊躇する人も、日々生活の中で健康意識できるようなシステムがあるといいなと思います。

(スポーツ課長補佐 市川)

ありがとうございます。自ら進んで出向いたりという方はカウントできますが、やはり、ご自分でご自宅やお近くでということ運動している方も中にはたくさんいらっしゃるという風に私たちも認識しておりますので、そういう数もということは大変参考になるご意見ありがとうございました。

(黒田委員)

みんスポが行った教室が元で自主クラブができあがっています。自主クラブのカウントは、数字の中に入っていないのかなと思います。さきほど言われたみたいに、そういう人たちも数字をいければ、もっと人数が増えるのではないかと思いますし、藤野さんが言われましたように、公というのではなくて、個々や団体でやっている所を数字に入ればそこそこ数字が増えるのではないかと思います。

(スポーツ課長補佐 市川)

比較ということがやはり計画を作る段階でもいろいろと問題となっていて、いろ

いろな所をプラスしていけば、大きな数字が取れると思いますが、できるだけ比較ができるように、決まった所の数字をあげているというのがこの中の数字ですので、見えな  
い所でみなさんご活動していると思いますが、あれもこれもということではないという  
ふうな所もあるということをご了解いただきたいと思っております。

(黒田委員)

違う話になりますが。施設のことですが。学校施設の整備等の充実という所で、学校  
の体育館は順番に改修しているということですが、毎年私たち志貴小学校でカローリン  
グをやっていますが、投げたジェットローラが戻ってきてしまいます。ポイントゾーン  
を超えたローラが、戻ってサークルに入ってしまう。つまり、傾斜があるんだと思いま  
す。私たちは、これは本来ダメだからねと言っていますが、そういったことで、学  
校の施設の中で、例えば床がボコボコしていたりとか、そういう改修のご予定などはど  
うなっているのでしょうか。

(スポーツ課長補佐 市川)

学校の改修につきましては、教育委員会総務課がやっておりますが、計画をもって順  
番に改修をしている所です。改修するにあたっては非常に大きな金額ですし、スケジ  
ュールを立てて保全を進めている所ですが、それだけ傾斜があるということもおそらく学  
校から連絡が入っていると思いますが、それはきちんと順番に計画をもって進めている  
所であります。簡単に直るものであればすぐ対応しますが、やはり傾斜となると、床を  
剥がしてということになりますので、すぐに対応というのは難しいです。

(黒田委員)

学校の授業や部活の中では傾斜は影響ないと思いますが、私たちがやる事業のなかで  
そういうことがわかって、学校に言ったりということはしていると思います。たくさん  
お金もかかるし、学校もたくさんあるので順番があるとは思いますが、その辺のことを  
ご承知おきいただけるとありがたいと思います。北部小学校みたいに全部綺麗にできた  
はいいと思いますが、周りの住民の影響で夜間の使用は20時までという所も出てきて  
おりますし、または床を傷つけてはいけないということもあって、卓球の方はやめてし  
まったりということもあります。たくさん使っていけば自然と床が傷ついていくとは思  
いますが、新しい所だと傷つけてはいけないと言われたそうなので、そういう所は辞  
退されている所も出てきているもんですから、どうなのかなと思います。

(スポーツ課長 名倉)

卓球台を運ぶのに足にローラーもついていますので、どうして傷ついたのか経緯はわ  
かりませんが、通常のスポーツを実施するのは可能だと思います。体育館を利用する場  
合、椅子を置いたりするときなどはマットを引いたりなどはお願いしていますが、通常  
でやる範囲でダメってということはないと思います。ただ、傷をつけないでくださいとい  
う要望をしたので、卓球をされていた方が遠慮されてしまったのかなと思います。

(黒田委員)

卓球だけではなくて、他にもそういうお話を伺っています。もう小学校使いにくいね  
という意見がでていきますので、たぶん北部小の体育館でやればカローリングが戻ってく

るようなことはないとは思いますが、通常の使い方ですと大きく傷ついたりすることはないと思いますので、そこまで神経質にならなくてよいですかね。

(スポーツ課長 名倉)

それで良いかと思えます。改修につきましては、体育館だけではなく、学校全体の要望が各学校から総務課へあがって、順番にやっていくということになりますし、簡単なものであれば予算の範囲内で対応ということになります。

さきほどの傾斜の話は、大きな工事になりますので、計画を立てて、どこまでそれが影響するものかどうなのかを検証し、他の計画との兼ね合いもありますので、お声は挙げていただいて、その中で検討していくことになると思います。

(黒田委員)

ちょっと施設を見ていただくとありがたいなと思います。

私たちの活動もたまに見てくださるとありがたいです。

【全委員了承】

## イ 目標値の達成状況について

【事務局説明】資料P 5、6

【質疑応答】

(藤野委員)

成人の週1回以上のスポーツ実施率を53%というデータが出て言いますが、このアンケートは抽出したものか無作為なのかいかがでしょうか。

(スポーツ振興係主事 河村)

現状値のことになりますが、スポーツ振興計画の策定の際には無作為4,000人の方にアンケートを依頼しました。詳細は、振興計画の4ページをご覧くださいと思いますが、調査期間は、平成25年6月13日から7月5日までで、4,000人の内、回収は1,549件ということで、こちらの数字を参考に今回の集計目標としております。

(藤野委員)

中高生は回収率が高いですし、こういった方は運動率が高いと思いますが、成人の中でということですか。

(スポーツ振興係主事 河村)

中高生については、学校にご協力をいただいて、クラス単位でアンケートにご協力いただいている所でございます。中高生は体育の授業は含んでいませんが、部活動は入るということで、やはり成人と比べると数値が高いということになってきます。

(藤野委員)

安城市の人口は18万ぐらいとのことですが、約1,500人の回答ということで、統計学的にどうなんですか。

(スポーツ課長 名倉)

18万人の場合、細かい所は覚えていませんが、千何人かの数字が集まれば、3%ほどの誤差ということで統計学的に問題ないという判断がありますので、このくらいの数

字があれば大丈夫という判断になると思います。

【全委員了承】

## (2) 平成30年度スポーツ課事業計画について

【事務局説明】資料P7～9、ボッチャの実践説明

【質疑応答】

(中川委員)

市の広報でスクール・教室を募集されている所ですが、この参加費が結構高いのでちょっと遠慮していますが。もう少し安くなるといいなあと思っています。

(スポーツ課長補佐 市川)

単発的なものにはなりますが、地区の小学校単位でスポーツ推進委員さんのスポーツ教室だったり体験会だったりですとか、そういったものも広報に載せさせていただいているので、地域スポーツ教室・交流会というものがあって、教室というものでは5回くらいのもになっていますが、ぜひそういったものにご参加いただけると良いかなと思います。

(中川委員)

どういったものを行っていますか。グラウンドゴルフやミニテニスはありますか。

(黒田委員)

やっている地域もあります。

(藤野委員)

健康体操を担当していますが、スクール1期で数千円くらいというのは、何回か回数あつてのことなので、1回あたりにすれば数百円ということになります。

(スポーツ課長補佐 市川)

ぜひご参加お待ちしております。

【全委員了承】

## (3) 第2次スポーツ振興計画に係る平成30年度重点施策及び主要事業について

【事務局説明】資料P10

【質疑応答】なし

【全委員了承】

## 6 その他

施設見学（体育館及びソフトボール場）

以上